

札幌の冬の魅力、
子どもたちに届けましょう!

雪学習 NEWS

札幌市内
小学校
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のスーズンを中心に、定期的にをお届けします。

No.33

雪を楽しむ

いよいよ冬の到来を感じる季節となりました。今回は「雪遊び」と「英語」の視点から、素敵な絵本を紹介します。

外国語活動・
外国語

「ゆき ゆき ゆき」の著者、 ほんままゆみさんに インタビューしました!



「ゆき ゆき ゆき」

主人公は雪が大好きな「しろ」とその兄「しろあに」と姉「しろあね」の三兄妹。冬のニセコの自然の中で、森の仲間と一緒にスキーやお城づくりなど、元気いっぱい、思いきり体を動かして雪と遊びます。輝くばかりの雪景色やキタキツネなどのかわいい動物たちもこの絵本の魅力の一つとなっています。日本語と英語のバイリンガル絵本となっているので、外国語活動や外国語の学習などに題材として取り上げることができます。



「ゆき ゆき ゆき」の制作の きっかけを教えてください。

幼少期の頃、私自身札幌の藻岩山の麓で兄や姉と一緒に雪の中で駆け回ってよく遊んでいました。その思い出がこの絵本の原点です。子どもたちには自然を五感で感じ、そこから生まれる感動を大切にしてほしいです。この絵本をきっかけに、ぜひ外に出て、雪を感じ楽しんでほしいと思っています。



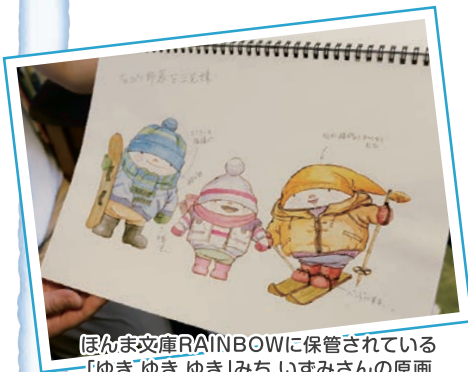
なぜバイリンガル絵本として 出版されたのですか?

現在、私の住むニセコ町には、33か国ほどの外国の方が住んでいます。また国際結婚ファミリーも多く、町内のある小学校では約3割の子どもたちが日常会話として英語を話すことができるという環境です。近年、外国人のお子さん連れ観光客も増え、世界のたくさん子どもたちに読んでもらいたいという思いから英語訳をつけました。



ほんまさんは町内の国際交流員の方と協力 して、多言語の絵本の読み聞かせを行って いますが、その魅力とは何ですか?

四言語圏から国際交流員が派遣されているニセコ町です。各学校などで交流員とともに、それぞれの国の絵本をその母語で子どもたちに読む「多言語読み聞かせ活動」を2013年から開始しました。たとえ言葉が分からなくとも、絵を見ながら、読み手の声や言葉のリズムが心に響きます。また絵にはその国の様子が描かれているので、世界には様々な人が各々の生活や文化を大切に暮らしていることが伝わり、多様性を認め合う気持ちが育ちます。町では年一回「絵本ワールド」という多言語読み聞かせの大きなイベントを催しています。



ほんま文庫RAINBOWに保管されている
「ゆき ゆき ゆき」みち いずみさんの原画

ほんままゆみさん

1949年札幌生まれ。米、比、英国に住んだ経験と、絵本を介した活動から絵本作家に。現在はニセコ町で、環境と身体に優しいオーガニックワイナリーを夫と共同運営。絵本活動も続ける。そのワイナリーの一角にある「ほんま文庫RAINBOW」は、ほんまさんがこれまでに集めた世界各国の絵本が約1000冊あり、近隣の子どもたちに開放されている。「ゆき ゆき ゆき」の売り上げの一部は道立子ども総合医療・療育センター(札幌)に寄付されている。



ほんま文庫RAINBOWにて
(左から世界先生、ほんまさん、西本先生、神林准教授)

「ゆき ゆき ゆき」を題材にした外国語の授業実践


令和2年度は北海道教育大学附属札幌小学校の6年生が「ゆき ゆき ゆき」を題材にした外国語の実践を行いました。今年度は札幌市立屯田北小学校の6年生が実践の計画中です。昨年度の実践については裏面をご参照ください。



❁「ゆき ゆき ゆき」を題材にした外国語の授業実践

雪遊びが大好きな子どもたち。その実態を踏まえながら、「ゆき ゆき ゆき」を英語で読み聞かせをしました。知っている単語とイラストによって、子どもたちは雪遊びの楽しさを自分たちの体験を重ねながら感じることができました。外国語の学習と関連させて「雪遊びの楽しさが伝わる絵本を作って、1年生に読み聞かせをしよう」という単元のゴールを目指して、活動を行いました。

「オリジナル絵本“Snow Snow Snow”で読み聞かせ会をしよう」単元計画(全5時間)

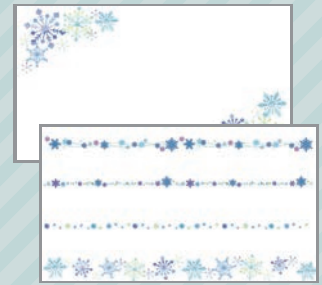
時数	活動内容
1	ほんままゆみさんの絵本「ゆき ゆき ゆき」を読み、どのような雪遊びの絵本を作りたいか考える。
2	あらすじを考え、実際に雪遊びをしながら、絵本に使う写真を撮る。 
3	Googleスライドを使いながら、写真と英語の文章を組み合わせ、絵本を完成させる。 
4	Google Workspace for EducationのGoogleスライドを用いて作成できるので、いつでもどこでも編集できる。クラス内で共有することで、グループ全員が編集可能。また、他グループのスライドを閲覧して、自分たちの作品に生かすことも可能。
5	読み聞かせ会で、プレゼンテーション機能を使いながら、1年生に読み聞かせをする。

実践を終えて

読み聞かせする相手を1年生に設定することで、相手を知っている単語や簡単な英語で表現しようという意識が高まり意欲的に活動に取り組む姿が見られました。グループで1つの物語を作るのは、なかなか大変でしたが、子どもたちは授業時間以外も時間を見つけて相談したり、編集したりしていました。今回はオリジナルのストーリーを子どもたちは考えましたが、グループで一つの遊びを担当し、「ゆき ゆき ゆき」の2日目をみんなで完成させるという場面設定をすることも可能です。今回は、感染症対策のため、1年生に直接読み聞かせをすることはできませんでした。そこで、印刷したスライドを綴じて製本し、1年生にプレゼントしました。読み聞かせの様子をビデオ撮影して、プレゼントすることもできます。みなさんも、ぜひ雪遊びの絵本作りにチャレンジしてみてください。



給食時間に1年生に絵本をプレゼントする子どもたち



スライドに活用できるイラスト例

※雪の結晶や雪あかりのイラストはこの絵本作りに作成しました。下記の「札幌雪学習」HPからダウンロードが可能です。このイラストを組み合わせることで、可愛らしく冬らしい絵本の絵ができます。

Q&A

Q.公園に雪を入れてもいいの?

A. 遊具・樹木の損傷や事故を誘発する可能性があるため、公園には、原則として雪を置くことはできません。しかし、町内会と札幌市との間で「覚書」を交わし、責任を持ち、ルールを守ることによって、公園内に雪を置くことができます。これまでに、町内会と覚書を交わし、地域の雪置き場として活用した公園は、市内の都市公園約2,700箇所のうち約1,500箇所(5割強)あります。

冬の公園利用の注意点



❗ 雪山から道路に滑り降りるのは絶対だめ!



❗ 遊具の周りが見えない空洞ができ、落ちて、けがをすることがあるので注意!

授業をサポートする資料は、ここ!

このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習 🔍 検索

雪学習HPはこちら➡



【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141